

## ルカの福音書 第12章 27節

「ゆりの花のことを考えてみなさい。どうして育つのか。紡ぎもせず、織もしないのです。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を窮めたソロモンでさえ、このような花の一つほどにも着飾ってはいませんでした。」

イエス様は面白いことをいわれるお方だと思います。ゆりの花のことを考えてみなさいです。普通だったら、ゆりの花の美しさを愛でなさい、とでも言うところでしょう。しかし、考えなさいというのです。

見るだけではなく、ゆりの花の不思議さに目を向けなさいということでしょう。そして、考える素材をくださるのです。その上で、イエス様も認める、あのソロモンの栄華にもまさるものが一輪のゆりの花にあるといわれます。どうして、そうなるのでしょうか。なぜでしょうか。そこをよく考えてみなさい、とイエスはいいます。

よくよく考えてゆくと、ゆりの花をそこに咲かすのは、考えてみなさい、といわれるイエス様である事実に気づかされます。ゆりの花を愛するとき、その根っこにあり、野に咲くゆりの花の物語のいっさいをつかさどるお方を見るならば、ゆりの花の不思議さが、イエス・キリストの香りとなり愛でる者のところに香ってくるのです。